



みみなし

～ 強く、正しく、暖かく ～ そして、優しく

コミュニケーション能力向上。大切ですね！

6年生児童を対象としたコミュニケーション能力向上のための講座を、5月29日（木）・6月3日（火）・5日（木）の3回にわたって行いました。講師の先生は、毎週土曜日のお昼におなじみの『吉本新喜劇』の団員4名の方々です。第1回は「笑って学ぼう!」、第2回は「大きな声で伝えよう!」、第3回は「みんなで演じよう! 吉本新喜劇」というテーマでコミュニケーション能力の向上を図りました。

「じゃますんで～」 「じゃますんねやったら帰って～」 「あいよ～」の掛け合いなど、吉本新喜劇を通して子どもたちはコミュニケーション能力を高めました。新喜劇の団員さんたちは流石にプロで、子どもたちの話を上手に聞き、その話を広げていったり、時には突っ込んだりと、初めは緊張していた子どもたちも次第に打ち解け笑いの渦につつまれていきました。第3回では子どもたちも新喜劇の団員となって、会場のみなさんに伝えるように掛け合いを進め、担任の先生も一緒になって新喜劇を完成させました。

今回の学習で6年生の子どもたちは、コミュニケーションの大切さを学びました。今後の生活の中で今回の学習を生かし、6年生を中心に明るく楽しい、笑いの絶えない耳成小学校を創ってほしいと思います。



授業参観並びに引き渡し訓練へのご参加ありがとうございました

6月6日（金）に本年度第2回目の授業参観を行いました。多くの保護者の皆様に参加いただき、子どもたちの元気な姿をご覧いただくことができました。また、その後大地震発生に備えた引き渡し訓練を行いました。こちらにも多くの保護者の皆様にご参加いただきました。非常にスムーズに対応いただき、短時間で終了することができました。少し暑さが心配されましたが、直前から太陽も隠れ風も出てきて、暑すぎない中で行うことができましたのも幸いでした。

今、東南海地震や南海地震の発生が心配されています。ご家庭でも万が一地震が発生したときの対応について、お子さまと色々な状況を想定し、お話をしておいていただきたいと思います。

おさない かけない しゃべらない もどらない ちがやらない



プール開き！

6月16日（月）からプール学習が始まりました。

「校長先生、今日はプールやねん！」と目をキラキラと輝かせて声をかけてくれるなど、子どもたちはプールの日を楽しみに登校してくれています。幸い、これまでのところほぼ天候にも恵まれ、順調にプール学習が進められています。子どもたちはプール学習でも元気いっぱい生き生きと活動しています。ひとり一人のプール学習での目標は違いますが、自分の目標に向かって、少しずつ上達してほしいと願っています。



大阪・関西万博と野外活動

6月13日（金）に6年生は遠足で大阪・関西万博へ出かけました。

さすがに万博会場は多くの人々で賑わっていました。子どもたちはバスを降りた後、西ゲートから入り、少し歩いて大屋根リング近くのミャクミャクの前で学級写真を撮った後、グループ活動に入りました。どのグループもなかなか上手に回ったようで、多くのパビリオンを見学出来たように話をしてくれました。出発前にはニュース等で報道されていた「虫」のことや「水」のことが心配されましたが、そのような心配事に出くわすことはありませんでした。この日は天気が回復し、気温も上昇。少し暑い中でしたが、会場が海のすぐ近くということもあり風が常にふいていました。そのため大屋根リングの下の陰などでは、その風が非常に心地よく感じました。1日ではすべてのパビリオンを回することはとてもできませんので、今回の遠足を機に、また出かけてみたいと思った人もいることと思います。



6月18日（水）から19日（木）にかけて、5年生は国立曽爾青少年自然の家を中心に野外活動に出かけました。

曽爾に到着後、すぐに入所式を行い、野外活動1日目が始まりました。お亀池周辺の散策や、木のスプーンづくり、みんなで入るお風呂やみんなで食べる夕食、そして夜のキャンプファイヤーでは思い切り楽しみました。みんなと寝る就寝後の部屋での時間も思い出のひとつです。5年生のみなさんは、早く寝たのかな？2日目は朝早くから起床していたようです。朝の集いや朝食後は焼きそばづくり。非常に手際よく、おいしい焼きそばができました。この焼きそばを食べた後、退所式となり、あっという間の2日間でした。この野外活動の数日前ぐらいから真夏のような天候となり、雨よりも暑さの方が心配されましたが、これまで学校で準備してきたことをもとに、子どもたちは元気いっぱいに活動してくれました。



春の校外での活動はこれで終わりましたが、5年生も6年生も誰一人休むことなく、全員で活動できたことが何よりの喜びとなりました。



7月の家庭教育月間目標

おてつだいをしよう！

今月のテーマは、「おてつだいをしよう！」です。子どもたちが、お手伝いをできたときに「ありがとう」「頑張ったね」などの感謝の気持ちを言葉で伝えていませんか？

また、大人同士が協力して家事などに取り組む姿を子どもたちにみってもらうことも大切です。そしてお手伝いの内容は、子どもたちの好きなことから始めると効果的です。

『はっけん！おてつだいやってみ隊』には、お手伝いを始めるきっかけや楽しく続けるヒントが、遊びを交えながらストーリー仕立てで紹介されています。

国立青少年教育振興機構 Webサイト

『はっけん！おてつだいやってみ隊』 →



1. 時間の使い方が上手になります

家事を手伝うときに順番を考えたり並行して何かをこなしたりする経験が、時間を上手に使ったりコントロールしたりする力につながります。

2. 自分に自信がつきます

家族や地域の方から声をかけられたり、感謝されほめられたりする機会が増え、自分が必要とされていると感じることができます。

3. 道徳観・正義感、自己肯定感が高まります

お手伝いをすることで、我慢したり自分を認めたりすることができるようになります。

奈良県立教育研究所

